

# ひかりのこ

7月園便り

聖ミエル幼稚園  
2020年6月16日

## 月主題：遊び込む

### 「子どもたちが希望の光」

長かった休園期間があけ、幼稚園に子どもたちの元気な声に戻ってきました。そして、午前保育の2週間は、体調を壊す子どもがいなかったか、ドキドキしながら毎日を過ごしましたが、ご家庭の皆様のご協力のおかげで、子どもたちは毎日を元気に過ごすことができました。

まだまだ世の中は、様々な問題や、人々の不安が無くならない状態ですが、子どもたちの姿を見ているだけで、ほっとします。

入園式を終えて、すぐにお休みになってしまったこすもすさん。2か月間、幼稚園を忘れないで楽しみに待っていてくれたようです。朝登園すると、さっとお靴を履いて2階に行く子。ちょっとお母さんのそばにいるけれど、大好きな先生に会うと、ニコニコして階段を上っていく子。そして保育室に入ると、お友達や先生と、好きな遊びを選んで遊んでいます。

少し前まで、一番小さかったのに、真ん中のお歳になったひまわりさん。休園中の2か月間で手足がすらっと伸びて、顔つきも去年とはちょっと違います。この前、年長さんがゴミ拾いに出て、お部屋にいないとき、年少さんに寄り添ってくれたり、お祈りやお返事も、お手本になってくれたりしたそうです。素敵ですね。

年長さんは、一足早く運動会のよさこいの練習を始めています。先週、「園長先生、見に来てください。」と子どもたちに呼ばれ、練習を見ることができました。結構難しい振り付けだと思うのですが、みんな真剣に咲紀先生の動きを見ながら踊っています。誰一人としてよそ見をしたり、下を向いている子はいません。すずらん組になった喜びと期待が、子どもたちの表情に現れています。とっても素敵です。

こうやって子どもたちが、喜びをもって豊かに生活し、成長してくれることが、私たち大人にとっては、希望の光です。

だからこそ、私たち保育者は、どんなことがあっても、子どもたちが不安にならず、楽しんで幼稚園で過ごし、成長していける

ように、活動を組み立てていきます。

感染拡大防止のため、園内に多くの人を入れることができないため、まだまだ保護者の皆様に保育の様子を見ていただくことができないのが残念です。けれど皆様も私たちと一緒に、喜びや期待の中で、お子さんを共に育てていきましょう。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「星 空」

いま幼稚園の礼拝ではちょうど天地創造のお話しをしたところですよ。神さまがすべてのものを造られたこと。私たち人間も、そして空に輝く太陽も月も、無数の星たちもです。

道北の日本海側にある初山別村に、テレビドラマ『白線流し』の舞台になった天文台があります。25年ほど前から「マイスターズシステム」というプロジェクトを行っていて、夜空の星の中から一つを選び、それを自分の星として名前をつけて登録することができます。そのころ私は留萌の教会で働いていました。信者さんの孫たち、その友だち、近所の子ども、英語教室の子どもたち、札幌から応援に来てくれた青年たちで「こども会」を作り、賑わっていました。こども会で初山別に行き、「星」を登録、その年の年号から「ひかり95」と名付けました。その星は今も北斗七星の近くに輝いています。先日の新聞記事で、このプロジェクトを始め、宇宙のロマン、不思議を親切に話して下さった職員の方が亡くなったことを知りました。その方のお名前が、ちょうど1万個目の星に付けられたとのことでした。まだ遠出は難しいかもしれませんが、たまには街明かりのないところで、お子さんと夜空を見上げ、自然の神秘を味わってはいかがでしょうか。

チャプレン 司祭 下澤 昌